



Sophia Ecology Law Seminar 2017

CSRと環境法を考える連続セミナー（Aセミナー）

コンセプト： ソフィア・エコロジー・ロー・セミナーの趣旨【※】を踏まえ、「より佳き環境法」を実現するために、企業の社会的責任（CSR）や企業環境法の現状や課題について、その第一線で活躍する関係者たちが講義し、今後の展望について語り合う。

会場： 上智大学法科大学院203号教室（四谷キャンパス2号館2階）
アクセスガイド http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya
キャンパスマップ http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya

講義時間： 19:00～20:30 講義、質疑応答・議論
コメント：北村喜宣（本学法学部教授）ほか
コーディネーター：安達宏之（洛思社 代表取締役）

受講料： 無料

第1回 2017/11/6(月)	環境行政の最前線① ～公害対策等の立法現場で考えたこと 鷺坂 長美 氏（元・環境省水大気環境局長）
第2回 11/20(月)	CSR・環境法と企業① ～アサヒビール株式会社の取組み（仮） 内田 光喜 氏（アサヒビール株式会社 経営企画本部 環境・ARP室）
第3回 12/4(月)	非財務情報の開示とESG投資の行方 ～TCFDを中心に 長村 政明 氏（東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部部長 兼 CSR室長）
第4回 12/11(月)	CSR・環境法と企業② ～TOTO株式会社の取組み（仮） 鎌田 敏男 氏（TOTO株式会社 リスク管理統括部 環境推進グループ）
第5回 2018/1/15(月)	環境行政の最前線② ～改正土壤汚染対策法、審議会では何が議論されたか？ 寺浦 康子 氏（弁護士／エンデバー法律事務所）
第6回 1/29(月)	環境法とEMS、今後の方向性 ～企業の対応方法とあるべき環境法政策とは？ 奥 真美 氏（首都大学東京）ほか

※テーマ等は変更されることがあります。

- ◎ **受講申込み：** 受講希望者はメールの件名を「**エコロジー・ロー・セミナー（Aセミナー）申込**」とし、下記事項を明記の上、法科大学院事務室宛てにメールでお申し込み下さい（djuris@sophia.ac.jp）。折り返し、メールで受講許可証を送付いたします。受講日当日には、受付で受講許可証のメールの携帯画面もしくは印刷したものをご提示いただきますので、ご準備ください。
- ① 御名前（漢字）、②御名前（カナ）、③御所属、④受講希望回、⑤メールアドレス

【※】ソフィア・エコロジー・ロー・セミナーの趣旨

法科大学院における研究教育を社会に還元し、その反応を踏まえてさらに内容を改善することは、上智大学にとっても重要な課題であるとともに、これに対する社会的要請も高まってきている。上智大学法科大学院は、かねてより、環境法政策プログラム（Sophia Environmental Law and Policy Program, SELAPP）を組織し、関係授業への聴講生制度の導入、研究会やセミナーなどを開催することによってこの要請に対応してきたが、ひとつのテーマのもとで連続した議論を展開する取組みには未着手であった。

「より佳き環境法」の実現は、現代社会が目指すべき大きな課題である。SELAPPは、ソフィア・エコロジー・ロー・セミナー（Sophia Ecology Law Seminar, SELS）として、新たに連続セミナーを夜間に開催することで、社会の要請に対応する。受講生としては、主として、弁護士、行政職員、企業法務職員などの法律実務家、環境法の遵守に関心を持つ民間企業人、そして、大学院生・学部学生を想定する。

上智大学法科大学院事務室
 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7番1号
 TEL 03(3238)3259
 上智大学法科大学院ホームページ <http://sophialaw.jp/>